



# いない いない ぼあ

令和7年12月発行

楽只保育所

絵本だより NO.2

日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩肌寒くなり始め、晩秋の訪れを感じます。秋の夜長に、子どもと一緒に絵本を読み、空想の世界やファンタジックな世界をゆっくりと楽しんでみてはいかがでしょうか。保育所の絵本コーナーの絵本には、子どもも大人も一緒に楽しむことができる絵本がたくさんあります。ぜひ、送迎の時間にのぞいてみてください。

保育所では、各クラスで絵本を楽しんでいます。今回は、絵本を楽しむ子どもたちの姿をお届けいたします。



## 0～2 歳児

乳児クラスの子どもたちは、体を揺らしたり、指をさしたりしながら保育士と一緒に絵本を楽しんでいます。

0歳児クラスや1歳児クラスでは、「だるまさん」シリーズや、童謡の歌絵本が特に人気です。“どてっ”などのオノマトペに合わせて、体を動かしたり、“わんわん”“にゃーにゃー”などの動物の鳴き声を真似したりしながら楽しむ姿がとてもかわいらしいです。また、童謡の歌絵本や「わらべうたあそび」の絵本では、わらべうたの身振り手振りを楽しんでいます。例えば0歳児クラスでは、うたあそびの「あたまかたひざポン」を、保育者の動きを真似て一緒に身振り手振りを楽しんでいます。

大きくなるにつれ、童謡の歌絵本を読むと、覚えた童謡と一緒に口ずさみながら楽しんだり、まちがいさがしやストーリー性のある絵本なども喜ぶようになり、少し難しい内容の絵本もわくわくドキドキしながら保育者と一緒に楽しんでいます。



だーるまさん、  
だーるまさん、  
にーらめっこし  
～ましょ♪

大好きな先生の  
膝の上でリラック  
スしながら絵本を  
楽しんでいます。



### 3～5 歳児

幼児クラスになると、乳児クラスよりも、文字数やページ数の多い絵本、図鑑のように内容も少し難しい絵本を楽しむ姿が見られます。まちがいさがしやめいろなど、みんなで一緒に楽しめる絵本を囲んで読むような姿も見られ、月齢に合わせて、めいろの絵本に出てくる動物を見つけあいっこするなどの楽しみ方もあるようです。絵本の世界に入り込み、登場人物になりきり、ドキドキ・ワクワクを体験し、悲しみや喜び・感動を味わう機会としてなくてはならない絵本の時間。保育者と子どもたちで会話を楽しみながら絵本を楽しんでいます。また、保育者の読み聞かせだけでなく、文字を読めるようになってきた子どもは、子どもだけで絵本を読むことを楽しむ姿もあります。さらに、日常の遊びや活動の中で、絵本の物語を発展させて楽しむような姿も見られます。

今子どもたちに人気の絵本は、お化けが出てくる内容や、わんぱくだんシリーズです。大人の方も楽しんでください。

えっ  
どれどれ？



あっ、このどうぶつ  
しってるよ。



～まちがいさがし～



こことここが  
ちがうかな？

保育所では、子どもたちの興味が広がるよう、絵本コーナーで各月のおすすめ絵本も紹介しています。是非手に取ってみてください♪

※絵本コーナーは、乳児も幼児も同じ、1 階の階段下のスペースになりました。本棚も増やして、たくさんの絵本を用意しておりますので、朝・夕少しお時間がある日に、親子で絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

